

**気をつけて！！**

## **二酸化炭素消火設備の誤放出**

令和3年1月23日、東京都港区のビル地下1階駐車場内ポンベ室において、ビルメンテナンスの作業員が二酸化炭素消火設備の作動点検等を行っていたところ、二酸化炭素が放出し、2名が死亡する事故が発生しました。

また、令和2年12月22日、愛知県名古屋市内にあるホテルの機械式立体駐車場において、メンテナンス作業中、二酸化炭素消火設備から二酸化炭素が放出し、1名が死亡、10名が重軽傷を負う事故が発生しました。

消火設備は、不適切な取り扱いをすると、人的被害が発生する恐れがあります。

**同様の事故を起こさないよう、次の事項を徹底してください。**

### 1 工事・メンテナンス時の注意点

- ① 誤作動・誤放出を防ぐために**二酸化炭素消火設備を熟知した消防設備士や消防設備点検資格者を立ち合わせ、作業時の安全を確保する。**
- ② 関係者以外の人が入り込まないように管理を徹底する。
- ③ **非常停止ボタンや停止ボタンをすぐに押せるように人員を配置する。**

### 2 建物利用者等への周知

防火管理者や二酸化炭素消火設備設置場所利用者等に対する周知事項

- ・ **二酸化炭素の人体に対する危険性**
- ・ **設備の適切な取り扱い方法、作動の際の対応方法及び避難方法等**

(手動起動装置の起動ボタンは、火災の時以外は絶対に押さない)

メーカーによって操作方法が異なる場合があります。

### 3 消火設備作動時の対応

二酸化炭素消火設備の消火剤が放出された場合には、**すぐに119番通報するとともに、絶対に放出場所へ人の立ち入りをしない・させない。**

## 二酸化炭素消火設備についてQ & A

**Q 1：二酸化炭素消火設備とは、どのような設備ですか？**

A：二酸化炭素消火設備は主に窒息消火により火災を鎮火させるための消火設備で、固定式と移動式があります。

**Q 2：二酸化炭素消火設備は、どのような建物に設置されていますか？**

A：消火に伴う汚損が少なく、電気絶縁性があることから、一定規模以上の通信機器室、電気室、ボイラー室、駐車場などに設置されています。

**Q 3：二酸化炭素消火設備の消火剤は、どのようにすると放出されますか？**

A：以下の二通りがあります。

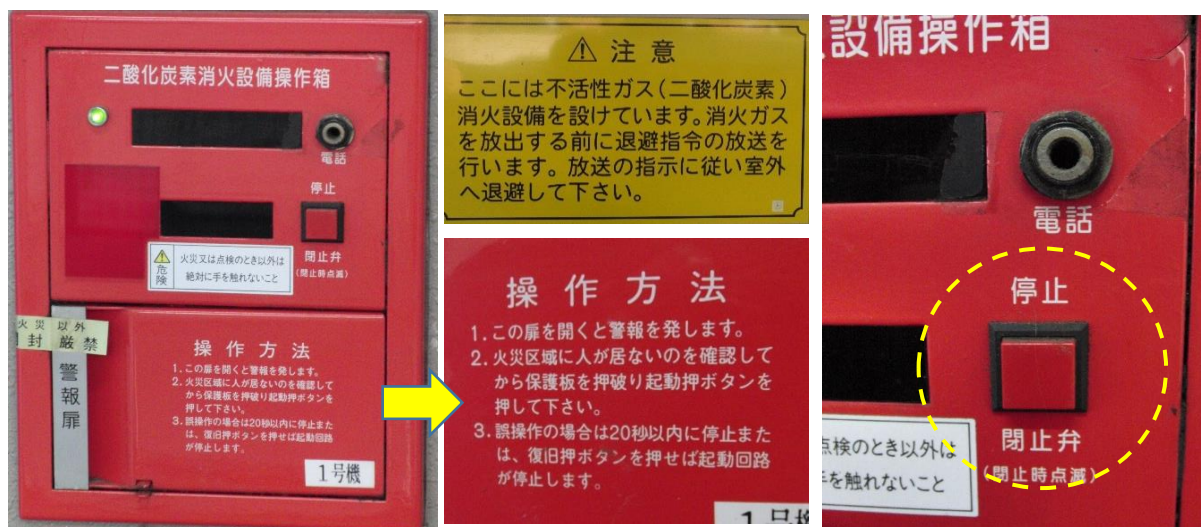
- ① 手動起動装置（操作箱）の手動起動ボタンを押すと放出する場合
  - ② 自動火災報知設備の感知器作動と連動して放出する場合
- なお、安全のため消火剤の放出前には、音声による警報が鳴ります。

**Q 4：二酸化炭素消火設備が作動した場合、どのような危険がありますか？**

A：消火剤である二酸化炭素には毒性（麻酔性）があるため、高濃度の二酸化炭素を人が吸うと即時に意識喪失し、酸素欠乏症に陥り、死にいたる危険があります。

**Q 5：主な二酸化炭素消火設備の誤放出の原因は何が考えられますか？**

A：手動起動装置の起動ボタンを誤って押してしまい、誤放出という事故が多発しています。そのため、必ず停止ボタンをすぐに押せるようにしておくことが大切になります。



### 問い合わせ先



- 岐阜市消防本部予防課 058-262-7163
- 瑞穂消防署 予防係 058-327-0119
- 岐阜中消防署 予防係 058-262-7165
- 山県消防署 予防係 0581-22-0119
- 岐阜南消防署 予防係 058-272-2012
- 本巣消防署 予防係 058-324-0119
- 岐阜北消防署 予防係 058-231-5308